

令和 6 年度学校評価報告書

令和 7 年 3 月

富山大学教育学部附属中学校

令和6年度学校評価報告書

富山大学教育学部附属中学校

I はじめに

1 教育目標（校訓）・教育方針

【校訓】 自分で考え、自分で計画し 勇気をもって実践しよう。

己にうちかち他を愛し 真善美を求めよう。

【教育方針】

- ◇ 高い知性と豊かな情操を備え、強い意志をもって真・善・美を追求する人間を育成する。
- ◇ 思慮に富み、善悪の判断を誤らず、誠実・勤勉で、自主性をしっかり身に付けた人間を育成する。
- ◇ 教師や友人との親和を重んじ、共同生活における自らの立場と使命を自覚し、社会の有能にして望ましい形成者となる人間を育成する。
- ◇ 明朗活発な気性と堅忍持久の精神をもって、志すところを貫徹してゆく実行力を備え、強健な身体をもつ人間を育成する。

2 学校評価委員会

校長・副校長・教頭・教務部（3名）で組織する。

II 学校評価実施計画

1 目的

- (1) 本校における教育活動等の成果を検証し、必要な改善・支援を行うことにより生徒がよりよい教育活動等を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指す。
- (2) 学校運営に関する保護者等の関心に対し適切に説明責任を果たすとともに、学校の状況に関して共通理解することにより、相互の連携協力の促進を図る。
- (3) よりよい学校づくりやよりよい生徒づくりに向けて、アカウンタビリティ（説明責任）や行為責任、結果責任を含めて、教員の意識改革の機会とするとともに、教員の質の向上と関係者との継続的・発展的な協働のための情報の共有・コミュニケーションのツールとして生かす。

2 実施方法

- (1) 自己評価
 - ・全教員（アンケート、職員会議）
- (2) 評価アンケート（生徒、保護者対象）
 - ・全生徒
 - ・全保護者
- (3) 自己評価、評価アンケートの結果について評価する学校関係者評価
 - ・学校評議員会
 - ・PTA役員会

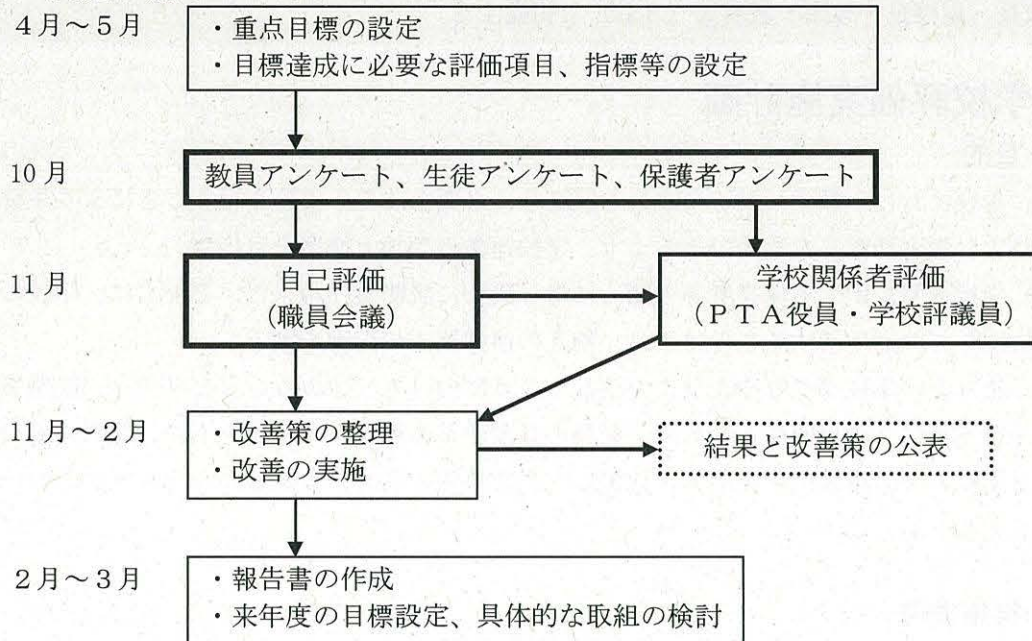
3 評価方法

- (1) 教員、生徒、保護者への評価アンケート ※無記名で実施。
 - ・質問紙法による4段階評価（「あてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」）とし、記述を求める質問は作らなかった。（保護者には「わからない」の回答選択あり）
 - ・回答はオンライン（グーグルクラスルーム・Forms）により行った。
- (2) 学校評議員会での評価
 - ・年2回の学校評議員会で、学校の概況報告を行うとともに、生徒や保護者による評価アンケートの結果と教員の自己評価の結果、並びに、全国学力・学習状況調査等の諸調査の結果を提供し、各評議員から意見を伺った。
- (3) PTA役員会での評価
 - ・年8回の役員会で、学校運営全般及び重点目標について、適宜、意見を伺った。

4 学校評価結果の公開等について

- (1) 公開
 - ・教員（職員会議）
 - ・学校評議員会
 - ・PTA役員会
 - ・保護者（保護者向けのたより）
- (2) 結果の報告・活用等
 - ・文部科学省等の公的機関の調査

5 実施の流れ



6 重点目標

本校の教育目標の根幹は「校訓」にあり、本校の目指す生徒像はここに表れていると捉え、今年度も、次の2点を本校が目指す生徒像とした。

- ・自分で考え、自分で計画し、勇気をもって実践する生徒
- ・己にうちかち他を愛し、真善美を求める生徒

このような生徒を育成することを学校の教育目標として、この具現化を目指して指導に当たっている。

本校にとっての課題を改善するため、昨年度の学校評価の結果も踏まえて、重点目標を設定した。

＜重点目標1＞ 「授業や諸活動への自立した取組」

＜重点目標2＞ 「クロムブックの利用や情報発信の適切な活用」

＜重点目標3＞ 「生活面に関する意識向上」

学校全般を見渡し、「校訓」および研究主題「主体性の高まりをめざす課題学習」を意識して、「目標をもって学校生活を送っている」かの評価を行う。

7 評価項目

評価項目は、重点目標に合わせることはもとより、質問を具体的な表現にすること、質問の対象者が誰なのかが分かるように質問の仕方を工夫すること等に留意して決定した。

また、教員、生徒、保護者で共通する評価項目は、三者の結果を比較し、それぞれの意識の違いに注目して課題を見付け出せるようにした。

【資料A】

Ⅲ 評価結果の活用について

1 結果の分析と実践

今年度も、設定した重点目標の内容に合わせて評価項目を設定し、評価を行った。

【資料B】 【資料C】

(1) 重点目標1「授業や諸活動への自立した取組」について

9割以上の生徒が学習規律を守り、学習内容を理解して意欲的に授業に参加できていると回答し、目標をもって学校生活を送っている生徒も8割を超えた。普段の授業やキャリア教育等の充実がうかがえる。

一方、授業で自分の考えを述べたり、クラスで討議したりして、自分の考えを深めていると回答する生徒は8割に及ばない。授業を基盤として、より主体的な生徒を育成していくための手立てについて、生徒の姿を基にした授業研究等を継続して行っていく必要である。

(2) 重点目標2「クロムブックの利用や情報発信の適切な活用」について

クロムブックをルールを守って利用しているかについては、良好であると答えた保護者が9割近くいることから家庭においても概ね正しく使用していると考えられる。家庭学習に役立っていると回答する生徒・保護者は7割を超え、教員の家庭学習への活用についての指導ができている割合も増加し、授業での指導と関連付けて、家庭学習にクロムブックを効果的に活用してきた成果が表れている。

「ホームページやお知らせメール等、学校の活動や情報を知るのに役立っている」と回答する保護者の数値が昨年と比較して上がっている。グーグルクラスルームによる情報確認が定着してきたと考えられる。

一方で「保護者から学校へ困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある」と回答する保護者は8割程度である。三者懇談会に限らず、家庭で気付かれた生徒の変化等を早い段階で共通理解できるような関係を教員と保護者の間で築いていけるよう努めていきたい。

(3) 重点目標3「生活面に関する意識向上」について

交通ルールやマナーの遵守については教員と生徒・保護者の間に大きな捉えの違いがある。生徒自身が場面に合わせて適切な判断ができるような指導を継続的に行う必要がある。また、持ち物の管理については、否定的な回答をする教員・生徒・保護者が約2～3割であった。学年懇談会等を通して学校での実態を伝え、家庭とも連携しながら、指導方法を検討していきたい。

保護者には、評価の結果と考察及び課題解決のための今後の取組について、文書で知らせた。

【資料D】

2 実践状況の振り返りと次年度への提案

評価結果の分析を受けて、学年や分掌等で実践してきたことを年度末に振り返った。昨年度まで、そして今年度と、継続して取り組んできたことに成果は出てきている。しかし、改善の余地はあり、来年度も継続して取り組んでいく必要がある。

(1) 重点目標1「授業や諸活動への自立した取組」について

- ・各学年の発達段階に応じたキャリア学習を推進していくとともに、今後も継続して主体性の高まりを目指す授業研究を進めていくこと。

(2) 重点目標2「クロムブックの利用や情報発信の適切な活用」について

- ・クロムブックの使い方について、学級や学年で継続した指導を行っていくとともに、生徒会活動等を通して、インターネットとの付き合い方について生徒に考えさせていく取組を進めていくこと。
- ・各教科担当でクロムブックを活用した授業や家庭学習について実践研究を進めること。
- ・三者懇談会等だけでなく、生徒の変化について、早い段階で学校と保護者が共有できる関係づくりに努めること。

(3) 重点目標3「生活面に関する意識向上」について

- ・これらの場面において本校の目指す生徒像を生徒と改めて共有し、粘り強い指導を行うこと。
- ・生徒会活動を中心に、生徒発信型の意識向上の取組を引き続き図っていくこと。

◇添付資料

- 【資料A】 学校評価アンケート質問項目
- 【資料B】 学校評価アンケート結果 全体集計
- 【資料C】 学校評価アンケートについての考察
- 【資料D】 令和6年度学校評価の結果について（保護者配付）

【資料A】令和6年度学校評価アンケート項目

	生徒用アンケート	保護者用アンケート	教員用アンケート
1-1	・家庭学習の進め方(時間・方法など)について、教科担当の先生からの説明は十分である。	・家庭学習の進め方(時間・方法など)について、教科担当教師からの説明は十分である。	・あなたは、教科の家庭学習の進め方(時間・方法など)について、生徒に十分に説明している。
1-2	・定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。	・お子さんは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。	・あなたは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行うよう説明している。
1-3	・あなたは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。	・お子さんは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。	・生徒は、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。
1-4	・学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ないは①、適切であるは②、多いは③をマークしてください。)	・学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ないは①、やや少ないは②、適切であるは③、やや多いは④、多いは⑤)	・あなたが出している家庭学習の量は適切である。(少ない①、やや少ない②、適切である③、やや多い④、多い⑤)
1-5	・あなたはクロームブックをルールを守って使っている。	・お子さんは、クロームブックをルールを守って使っている。	・生徒は、クロームブックをルールを守って使っている。
1-6	・あなたはクロームブックを家庭学習に役立てている	・お子さんは、クロームブックを家庭学習に役立てている。	・あなたは、クロームブックを家庭学習に役立てることができるように指導している。
2-1	・あなたは、清掃担当場所の望ましい清掃の仕方を理解し、実践している。		・あなたは、清掃担当場所の生徒に望ましい清掃の仕方を理解させ、実践させている。
2-2	・あなたは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。		・生徒は清掃活動に積極的に取り組んでいる。
3-1		・保護者から学校へ、困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある。	・あなたは、保護者から気軽に相談できる雰囲気づくりを積極的にしている。
3-2		・学校から配布または保護者クラスルームで案内された情報は確実に確認している。	
3-3		・ホームページや保護者クラスルーム等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている。	
4-1			・あなたは、後任の分掌担当者への引継ぎを十分に行っている。(確実な伝達や資料のファイリングなど)
4-2			・前任者から引き継いだファイルは、スムーズに仕事をするのに十分である。
4-3			・あなたは、企画立案の際、前年度までの取り組みのよさを生かしながら、自分なりの工夫・改善をはかっている。
5-1	・学校の授業では、学習規律(私語をしない、授業開始時間を守るなど)が守られている。		・あなたの授業では、学習規律(私語をしない、授業開始時間を守るなど)が守られている。
5-2	・あなたは、授業内容を理解できている。	・お子さんは、授業内容を理解できている。	・あなたの授業では、生徒が授業内容を理解する工夫をしている。
5-3	・あなたは、授業において自分の考えを述べたり、クラスで議論したりして、自分の考えを深めている。		・あなたの授業では、生徒が自分の考えを述べたり、クラスで議論したりするなどして、自分の考えを深められる工夫をしている。
5-4	・学校の授業では、学習課題を理解し、意欲的に取り組むことができている。	・学校は、授業に意欲的に取り組めるような努力をしている。	・あなたは、生徒が意欲的に授業に取り組めるような工夫をしている。
5-5	・あなたは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。	・お子さんは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。	・あなたは、テストの結果などを、生徒がその後の学習に生かすための具体的な指導をしている。
5-6	・あなたは、目標をもって学校生活を送っている。	・お子さんは、目標をもって学校生活を送っている。	・生徒は、目標をもって学校生活を送っている。
5-7	・あなたは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。	・お子さんは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。	・生徒は、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。
5-8	・あなたは、交通ルールやマナー(公共交通機関の利用の仕方、自転車の乗り方、歩道の歩き方)を守っている。	・お子さんは、交通ルールや公共の場でのマナーを守っている。	・生徒は交通ルールやマナーを守っている。
5-9	・あなたは、時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。	・お子さんは、時と場合に応じた言葉遣いや行動ができている。	・生徒は時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。
5-10	・あなたは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。	・お子さんは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。	・生徒は、ほかの人に思いやりの心をもって接している。
5-11	・あなたには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。	・お子さんには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。	・生徒にとって、あなたは、悩み事や困ったことがあったときに相談できる相手である。
5-12			・あなたは、育てたい生徒像をしっかりと意識して指導(学習指導・生徒指導)している。
5-14	・あなたは、あいさつをすべき場面で、相手に気持ちが伝わるあいさつができている。	・お子さんは、あいさつをすべき場面で、相手に気持ちが伝わるあいさつをしている。	・生徒は、あいさつをすべき場面で、相手に気持ちが伝わるあいさつができている。

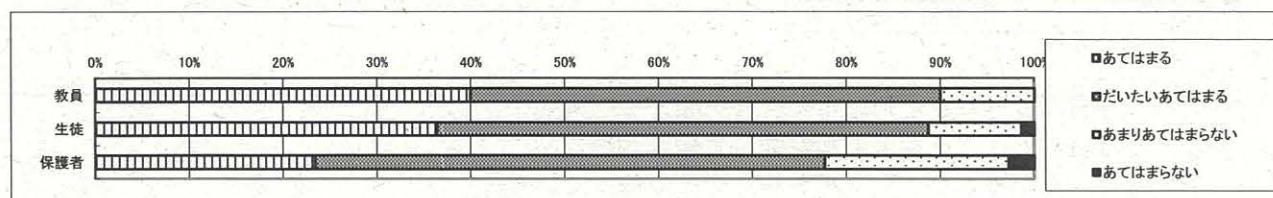
<項目1> 家庭学習の充実に関する指導の工夫

教1-1 あなたは、教科の家庭学習の進め方（時間方法など）について、生徒に十分に説明している。

生1-1 家庭学習の進め方（時間方法など）について、教科担当の先生からの説明は十分である。

保1-1 家庭学習の進め方（時間方法など）について、教科担当教師からの説明は十分である。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	40.0	36.4	23.8
だいたいあてはまる	50.0	52.3	55.3
あまりあてはまらない	10.0	9.9	19.9
あてはまらない	0.0	1.3	2.8

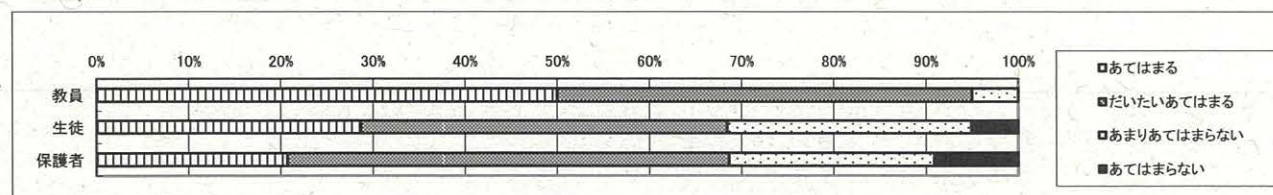


教1-2 あなたは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行うよう説明している。

生1-2 定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。

保1-2 お子さんは、定期考査前に、計画表を活用して見通しをもった学習を行っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	50.0	28.7	21.1
だいたいあてはまる	45.0	39.7	48.8
あまりあてはまらない	5.0	26.5	22.7
あてはまらない	0.0	5.1	9.3

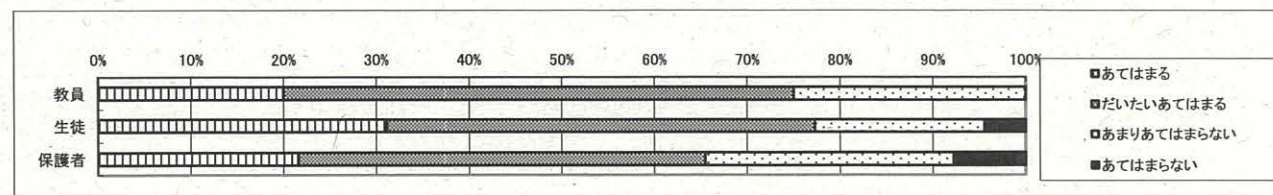


教1-3 生徒は、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。

生1-3 あなたは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。

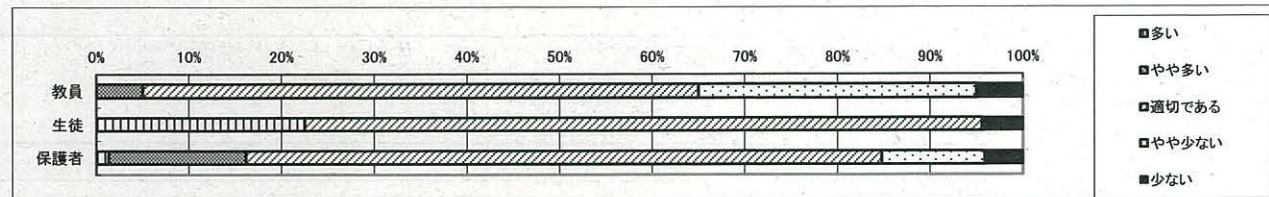
保1-3 お子さんは、授業の予習や復習など、家庭学習の時間を確保している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	20.0	31.1	22.0
だいたいあてはまる	55.0	46.1	44.7
あまりあてはまらない	25.0	18.3	27.3
あてはまらない	0.0	4.4	7.9



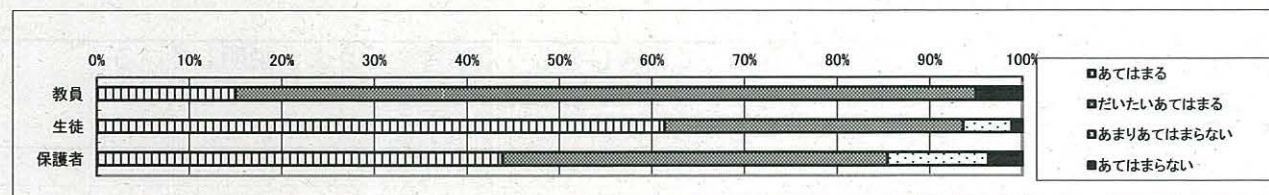
教1－4 あなたが出している家庭学習の量は適切である。(少ない①、やや少ない②、適切である③、やや多い④、多い⑤)
 生1－4 学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ないは①、適切であるは②、多いは③をマークしてください。)
 保1－4 学校から出される家庭学習の量は適切である。(少ないは①、やや少ないは②、適切であるは③、やや多いは④、多いは⑤)

	教員	生徒	保護者
多い	0.0	22.5	1.4
やや多い	5.0	15.0	
適切である	60.0	73.1	69.9
やや少ない	30.0	11.3	
少ない	5.0	4.4	4.2



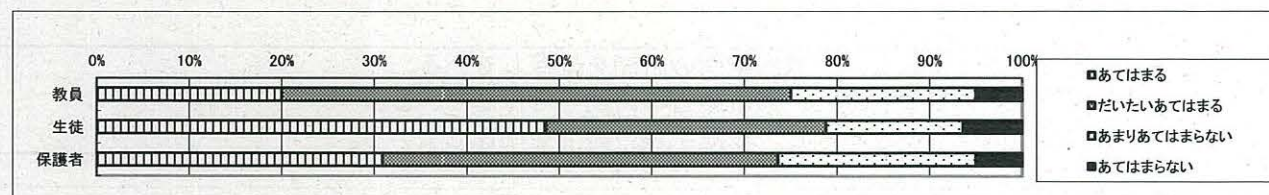
教1－5 生徒は、クロームブックをルールを守って使っている。
 生1－5 あなたはクロームブックをルールを守って使っている。
 保1－5 お子さんは、クロームブックをルールを守って使っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	15.0	61.4	44.7
だいたいあてはまる	80.0	32.2	42.4
あまりあてはまらない	0.0	5.3	11.1
あてはまらない	5.0	1.1	3.7



教1－6 あなたは、クロームブックを家庭学習に役立てることができるよう指導している。
 生1－6 あなたはクロームブックを家庭学習に役立てている
 保1－6 お子さんは、クロームブックを家庭学習に役立てている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	20.0	48.6	31.5
だいたいあてはまる	55.0	30.2	43.5
あまりあてはまらない	20.0	14.8	21.8
あてはまらない	5.0	6.4	5.1

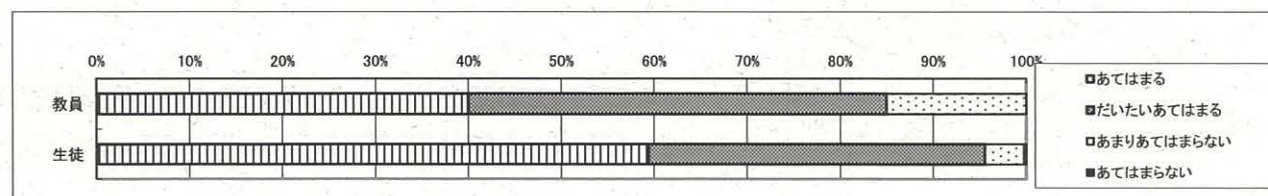


<項目2> 清掃に積極的に取り組もうとする態度の育成

教2-1 あなたは、清掃担当場所の生徒に望ましい清掃の仕方を理解させ、実践させている。

生2-1 あなたは、清掃担当場所の望ましい清掃の仕方を理解し、実践している。

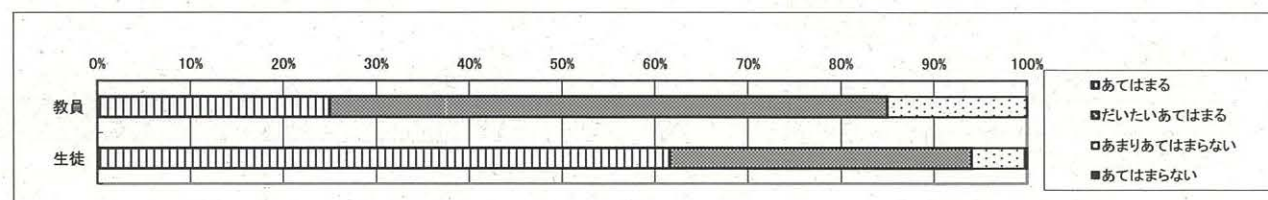
	教員	生徒	保護者
あてはまる	40.0	59.4	☒
だいたいあてはまる	45.0	36.2	☒
あまりあてはまらない	15.0	4.2	☒
あてはまらない	0.0	0.2	☒



教2-2 生徒は清掃活動に積極的に取り組んでいる。

生2-2 あなたは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	25.0	61.6	☒
だいたいあてはまる	60.0	32.5	☒
あまりあてはまらない	15.0	5.7	☒
あてはまらない	0.0	0.2	☒

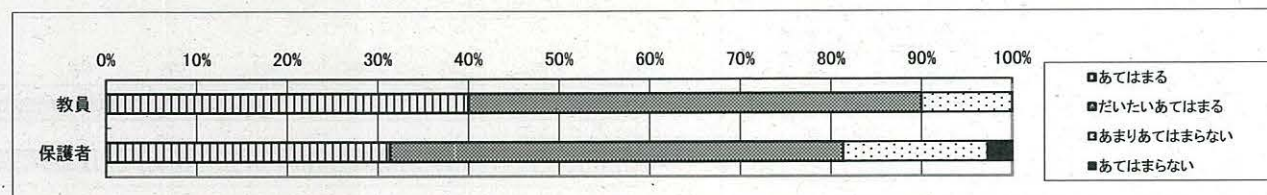


<項目3> 家庭への情報発信の充実

教3-1 あなたは、保護者から気軽に相談できる雰囲気づくりを積極的にしている。

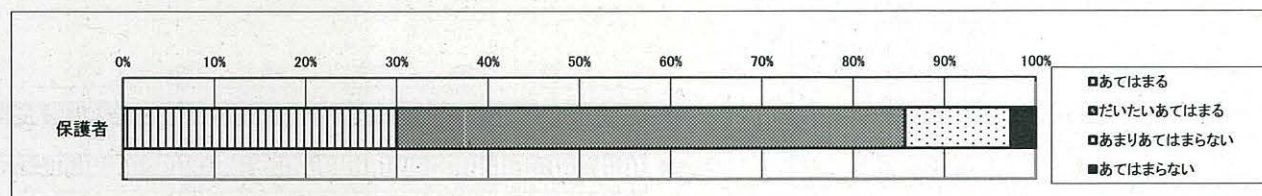
保3-1 保護者から学校へ、困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	40.0		31.9
だいたいあてはまる	50.0		50.9
あまりあてはまらない	10.0		16.2
あてはまらない	0.0		2.8



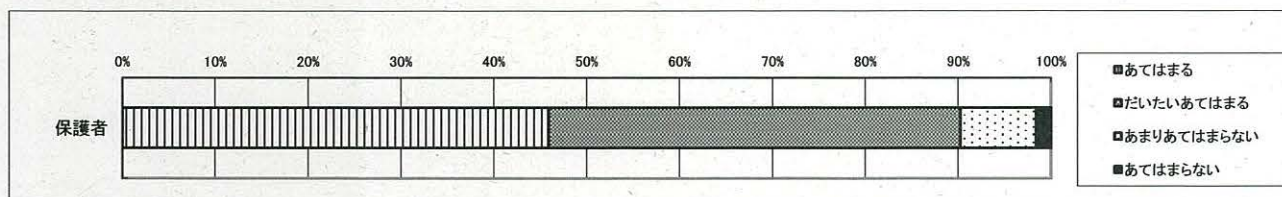
保3-2 学校から配布または保護者クラスルームで案内された情報は確実に確認している。

	教員	学 校	保護者
あてはまる			30.6
だいたいあてはまる			56.7
あまりあてはまらない			11.8
あてはまらない			2.8



保3-3 ホームページや保護者クラスルーム等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている。

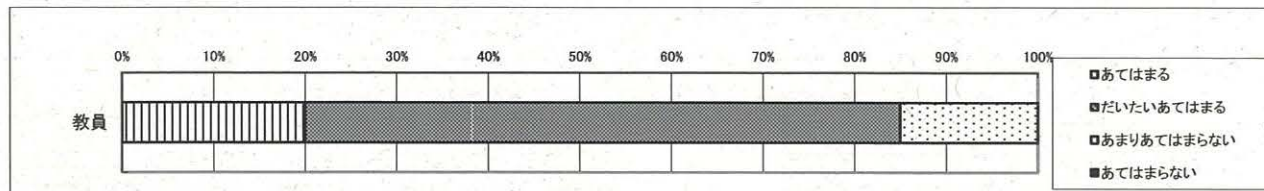
	教員	生徒	保護者
あてはまる			46.8
だいたいあてはまる			45.1
あまりあてはまらない			8.3
あてはまらない			1.6



<項目4> 見通しをもった仕事と引継ぎの充実

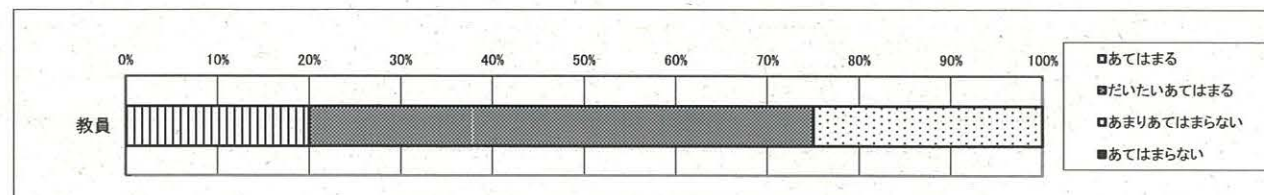
教4-1 あなたは、後任の分掌担当者への引継ぎを十分に行っている。(確実な伝達や資料のファイリングなど)

	教員	生徒	保護者
あてはまる	20.0		
だいたいあてはまる	65.0		
あまりあてはまらない	15.0		
あてはまらない	0.0		



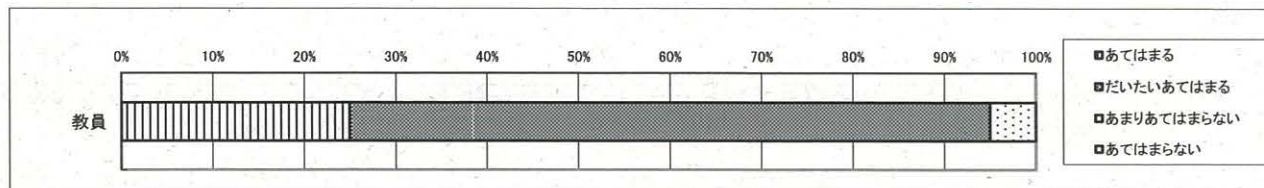
教4-2 前任者から引き継いだファイルは、スムーズに仕事をするのに十分である。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	20.0		
だいたいあてはまる	55.0		
あまりあてはまらない	25.0		
あてはまらない	0.0		



教4-3 あなたは、企画立案の際、前年度までの取り組みのよさを生かしながら、自分なりの工夫改善をはかっている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	25.0		
だいたいあてはまる	70.0		
あまりあてはまらない	5.0		
あてはまらない	0.0		

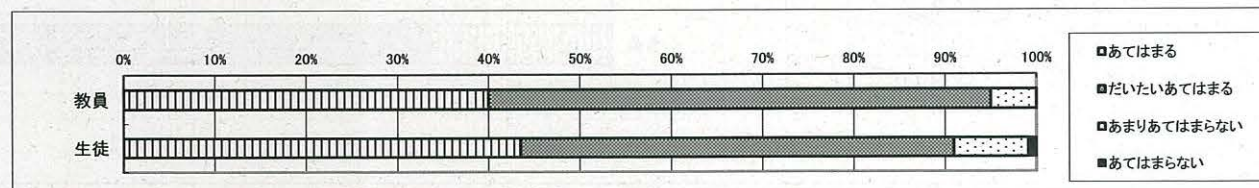


<項目5> 学校全般に関すること

教5-1 あなたの授業では、学習規律(私語をしない、授業開始時間を守るなど)が守られている。

生5-1 学校の授業では、学習規律(私語をしない、授業開始時間を守るなど)が守られている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	40.0	43.5	
だいたいあてはまる	55.0	47.5	
あまりあてはまらない	5.0	8.2	
あてはまらない	0.0	0.9	

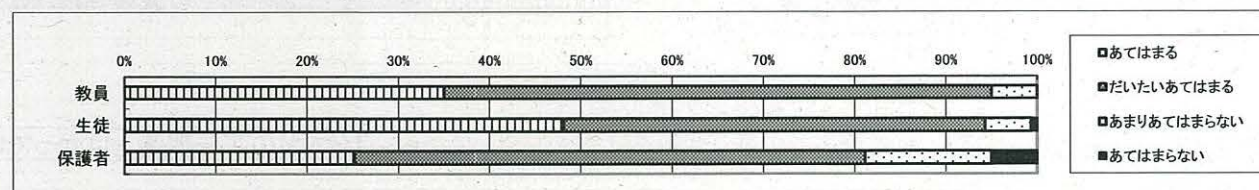


教5-2 あなたの授業では、生徒が授業内容を理解する工夫をしている。

生5-2 あなたは、授業内容を理解できている。

保5-2 お子さんは、授業内容を理解できている。

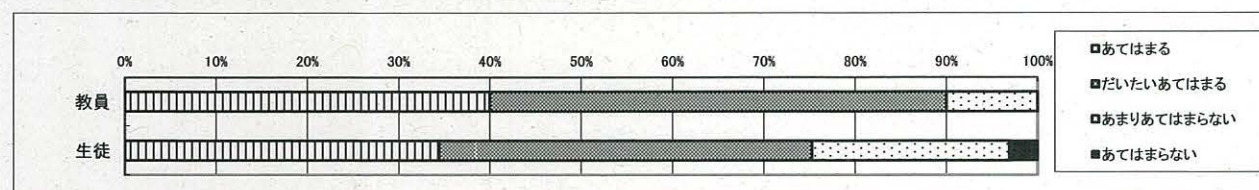
	教員	生徒	保護者
あてはまる	35.0	48.1	25.7
だいたいあてはまる	60.0	46.1	56.9
あまりあてはまらない	5.0	5.1	14.1
あてはまらない	0.0	0.7	5.1



教5-3 あなたの授業では、生徒が自分の考えを述べたり、クラスで討議したりするなどして、自分の考えを深められる工夫をしている。

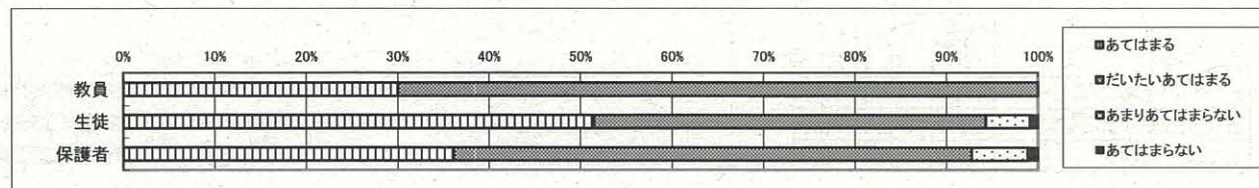
生5-3 あなたは、授業において自分の考えを述べたり、クラスで討議したりして、自分の考えを深めている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	40.0	34.4	
だいたいあてはまる	50.0	40.8	
あまりあてはまらない	10.0	21.6	
あてはまらない	0.0	3.1	



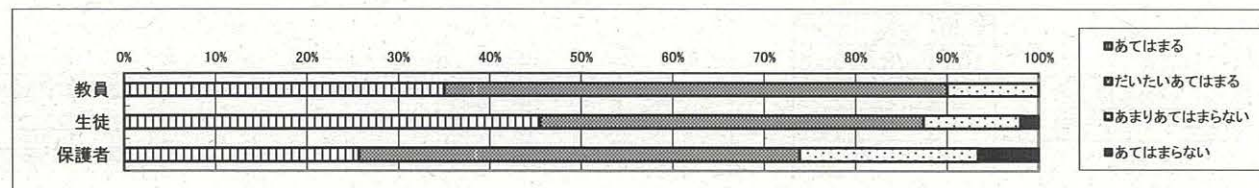
教5-4 あなたは、生徒が意欲的に授業に取り組めるような工夫をしている。
 生5-4 学校の授業では、学習課題を理解し、意欲的に取り組むことができる。
 保5-4 学校は、授業に意欲的に取り組めるような努力をしている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	30.0	51.4	36.8
だいたいあてはまる	70.0	42.8	57.6
あまりあてはまらない	0.0	4.9	6.3
あてはまらない	0.0	0.9	1.2



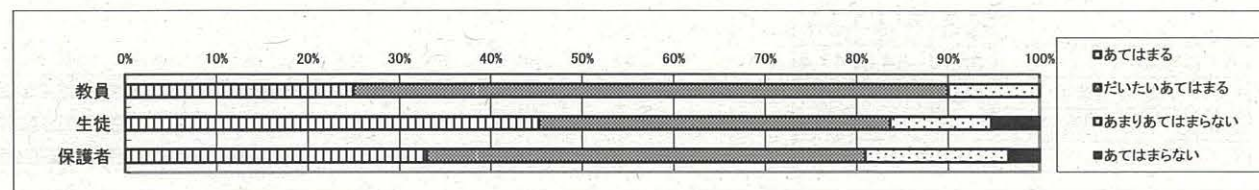
教5-5 あなたは、テストの結果などを、生徒がその後の学習に生かすための具体的な指導をしている。
 生5-5 あなたは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。
 保5-5 お子さんは、テストの結果や通知表などを、その後の学習に生かしている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	35.0	45.5	26.2
だいたいあてはまる	55.0	41.9	49.1
あまりあてはまらない	10.0	10.6	19.9
あてはまらない	0.0	2.0	6.7



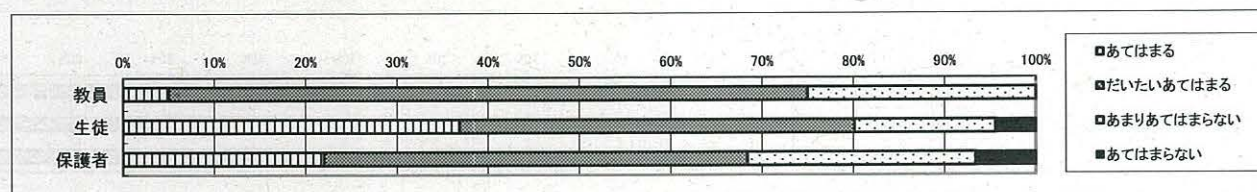
教5-6 生徒は、目標をもって学校生活を送っている。
 生5-6 あなたは、目標をもって学校生活を送っている。
 保5-6 お子さんは、目標をもって学校生活を送っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	25.0	45.3	33.6
だいたいあてはまる	65.0	38.4	48.8
あまりあてはまらない	10.0	11.0	16.0
あてはまらない	0.0	5.3	3.5



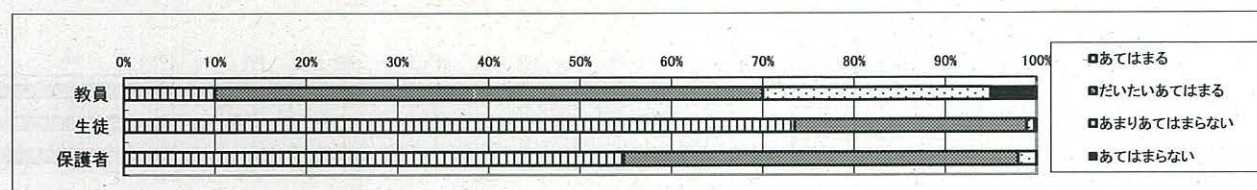
教5-7 生徒は、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。
 生5-7 あなたは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。
 保5-7 お子さんは、持ち物の管理(忘れ物をしない、物をなくさないなど)ができている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	5.0	36.9	22.5
だいたいあてはまる	70.0	43.3	47.2
あまりあてはまらない	25.0	15.5	25.5
あてはまらない	0.0	4.4	6.7



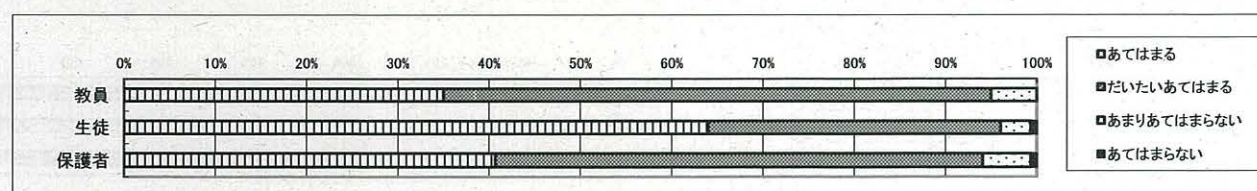
教5-8 生徒は交通ルールやマナーを守っている。
 生5-8 あなたは、交通ルールやマナー(公共交通機関の利用の仕方、自転車の乗り方、歩道の歩き方)を守っている。
 保5-8 お子さんは、交通ルールや公共の場でのマナーを守っている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	10.0	73.5	55.8
だいたいあてはまる	60.0	25.4	44.0
あまりあてはまらない	25.0	0.9	2.1
あてはまらない	5.0	0.2	0.0



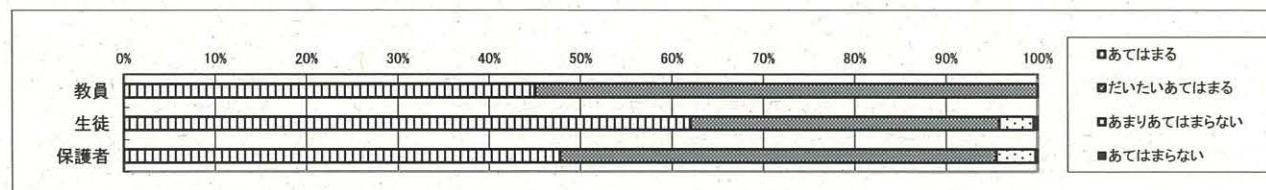
教5-9 生徒は時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。
 生5-9 あなたは、時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけている。
 保5-9 お子さんは、時と場合に応じた言葉遣いや行動ができている。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	35.0	64.0	41.4
だいたいあてはまる	60.0	32.0	54.4
あまりあてはまらない	5.0	3.3	5.3
あてはまらない	0.0	0.7	0.7



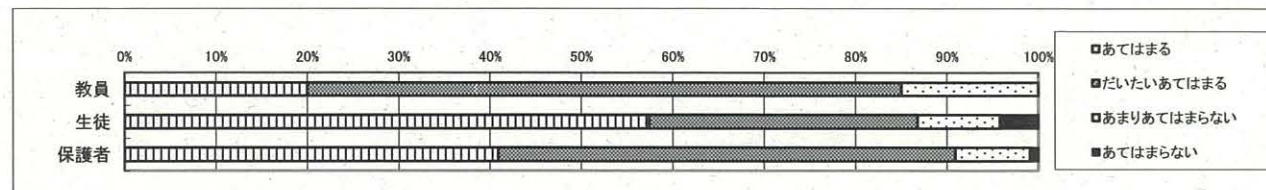
教5-10 生徒は、ほかの人に思いやりの心をもって接している。
 生5-10 あなたは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。
 保5-10 お子さんは、ほかの人に思いやりの心をもって接している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	45.0	62.0	48.6
だいたいあてはまる	55.0	33.8	48.6
あまりあてはまらない	0.0	3.8	4.4
あてはまらない	0.0	0.4	0.2



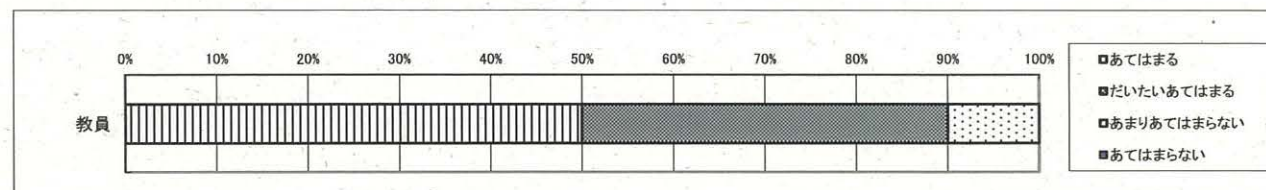
教5-11 生徒にとって、あなたは、悩み事や困ったことがあったときに相談できる相手である。
 生5-11 あなたには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。
 保5-11 お子さんには、悩み事や困ったことがあったとき、相談できる相手がいる。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	20.0	57.4	41.7
だいたいあてはまる	65.0	29.4	50.9
あまりあてはまらない	15.0	9.1	8.3
あてはまらない	0.0	4.2	0.9



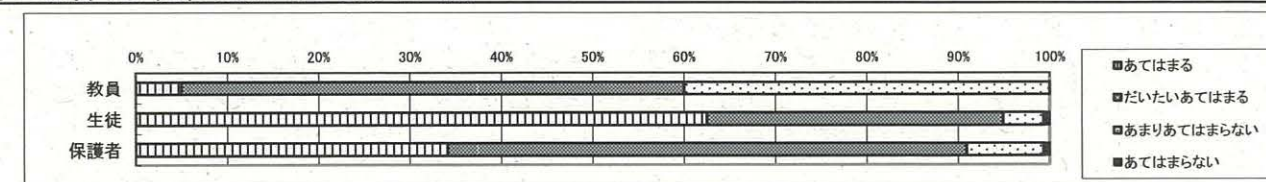
教5-12 あなたは、育てたい生徒像をしっかりと意識して指導(学習指導生徒指導)している。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	50.0		
だいたいあてはまる	40.0		
あまりあてはまらない	10.0		
あてはまらない	0.0		



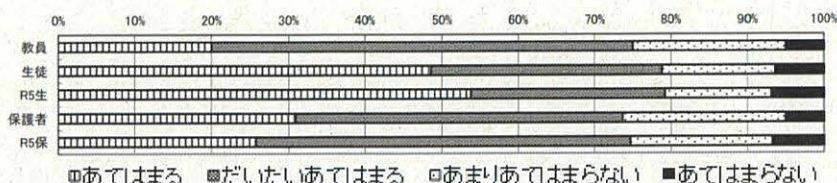
教5-14 生徒は、あいさつをすべき場面で、相手に気持ちが伝わるあいさつができています。
 生5-14 あなたは、あいさつをすべき場面で、相手に気持ちが伝わるあいさつができています。
 保5-14 お子さんは、あいさつをすべき場面で、相手に気持ちが伝わるあいさつをしています。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	5.0	62.5	34.7
だいたいあてはまる	55.0	32.5	57.9
あまりあてはまらない	40.0	4.4	8.6
あてはまらない	0.0	0.7	0.7



教員 あなたは、クロームブックを家庭学習に役立てることができるよう指導している。
 生徒 あなたは、クロームブックを授業や家庭学習に役立てている。
 保護者 お子さんは、クロームブックを家庭学習に役立てている。

	教員	生徒	R5生	保護者	R5保
あてはまる	20.0	48.6	53.8	31.5	26.0
だいたいあてはまる	55.0	30.2	25.4	43.5	49.3
あまりあてはまらない	20.0	14.8	13.9	21.8	18.7
あてはまらない	5.0	6.4	6.9	5.1	6.8



保護者 ホームページやお知らせメール、各種たより等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている。

	保護者
あてはまる	46.8
だいたいあてはまる	45.1
あまりあてはまらない	8.3
あてはまらない	1.6



保護者 保護者から学校へ困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある。

	保護者
あてはまる	31.9
だいたいあてはまる	50.9
あまりあてはまらない	16.2
あてはまらない	2.8



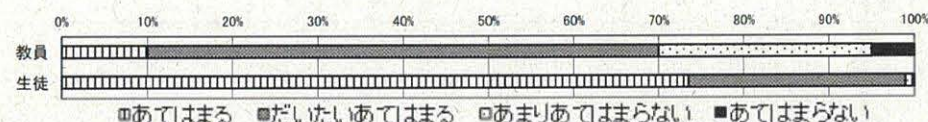
○ 「生徒の生活面に関すること」について

交通ルールやマナーの遵守については教員と生徒・保護者の間に大きな捉えの違いがあることが分かりました。その違いの原因を明らかにするとともに、生徒自身が場面に合わせて適切な判断ができるよう、指導を継続的に行う必要があります。また、持ち物の管理については、否定的な回答をする教員・生徒・保護者が約2～3割でした。学年懇談会等を通して学校での実態を伝え、家庭とも連携しながら、指導方法を検討していく必要があります。

教員 生徒は、交通ルールやマナーを守っている。

生徒 あなたは、交通ルールやマナー（公共交通機関の利用の仕方、自転車の乗り方、歩道の歩き方）を守っている。

	教員	生徒
あてはまる	10.0	73.5
だいたいあてはまる	60.0	25.4
あまりあてはまらない	25.0	0.9
あてはまらない	5.0	0.2

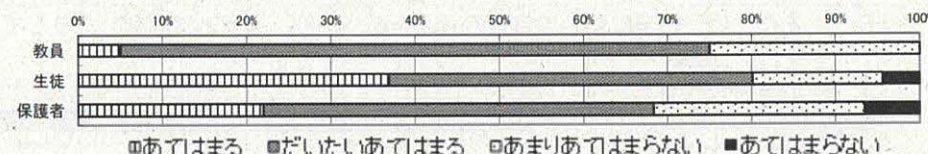


教員 生徒は、持ち物の管理（忘れ物をしない、物をなくさないなど）ができています。

生徒 あなたは、持ち物の管理（忘れ物をしない、物をなくさないなど）ができています。

保護者 お子さんは、持ち物の管理（忘れ物をしない、物をなくさないなど）ができています。

	教員	生徒	保護者
あてはまる	5.0	36.9	22.5
だいたいあてはまる	70.0	43.3	47.2
あまりあてはまらない	25.0	15.5	25.5
あてはまらない	0.0	4.4	6.7



2 今後の取組について

これらの結果を基に学校評価を行い、以下のことを意識して、教育活動を行っていくことを確認しました。

○ 「学校生活全般」「授業への取組」について

- 各学年の発達段階に応じたキャリア学習を推進していくとともに、今後も継続して主体性の高まりを目指す授業研究を進めていくこと。

○ 「クロームブックの利用」や「情報発信」について

- クロームブックの使い方について、学級や学年で継続した指導を行っていくとともに、生徒会活動等を通して、インターネットとの付き合い方について生徒に考えさせていく取組を進めていくこと。
- 各教科担当でクロームブックを活用した授業や家庭学習について実践研究を進めること。
- 三者懇談会等だけでなく、生徒の変化について、早い段階で学校と保護者が共有できる関係づくりに努めること。

○ 「交通マナー」「持ち物の管理」について

- これらの場面において本校の目指す生徒像を生徒と改めて共有し、粘り強い指導を行うこと。
- 生徒会活動を中心に、生徒発信型の意識向上の取組を引き続き図っていくこと。

保護者 各位

富山大学教育学部附属中学校

校長 山 根 拓

令和6年度 学校評価の結果について

向春の候 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、10月に行った生徒・保護者・教員を対象としたアンケートを基に、今年度の学校評価を行いました。その結果の概要と今後の取組についてお知らせいたします。今後はこの結果を生かし、本校の教育活動がさらに充実したものになるよう努力してまいります。

記

1 今年度のアンケート結果より

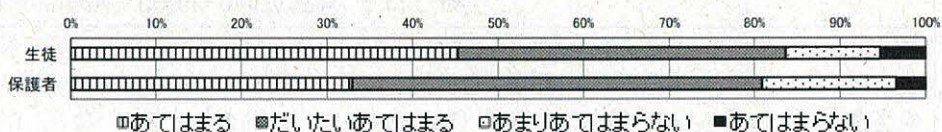
○「学校全般に関すること」について

9割以上の生徒が学習規律を守り、学習内容を理解して意欲的に授業に参加できていると回答し、目標をもって学校生活を送っている生徒も8割をこえました。2学年の「キャリアデザインキャンプ」を核とした、キャリア教育等を通して、将来につながる学びや経験をさせてきた成果は表れています。一方で、授業で自分の考えを述べたり、クラスで討議したりして、自分の考えを深めていると回答する生徒は8割に及ばないという結果が出ています。日々の授業を基盤として、より主体的な生徒を育成していくための手立てについて、これからも生徒の姿を基にした授業研究等を継続して行っていく予定です。

生 徒 あなたは、目標をもって学校生活を送っている。

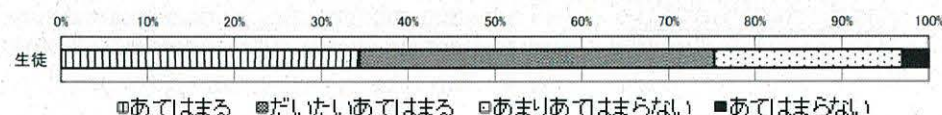
保護者 お子さんは、目標をもって学校生活を送っている。

	生徒	保護者
あてはまる	45.3	33.6
だいたいあてはまる	38.4	48.8
あまりあてはまらない	11.0	16.0
あてはまらない	5.3	3.5



生 徒 あなたは、授業において自分の考えを述べたり、クラスで討議したりして、自分の考えを深めている。

	生徒
あてはまる	34.4
だいたいあてはまる	40.8
あまりあてはまらない	21.6
あてはまらない	3.1



○「クロームブックの利用」と「情報発信」について

クロームブックをルールを守って利用しているかについては、良好であると答えた保護者が9割近くいることから家庭においても概ね正しく使用できていると考えられます。家庭学習に役立っていると回答する生徒・保護者は7割をこえ、教員の家庭学習への活用についての指導ができていく割合も昨年度から増加しました。授業での学習指導と関連付けて、家庭学習にクロームブックを活用してきた成果が表れています。生徒がクロームブックを学習ツールの一つとして効果的に活用していることがうかがえます。今後も、生徒や教員にとってクロームブックが学習ツールの選択肢の一つであることを意識して、その有効性を確かめながら活用していきます。

「ホームページやお知らせメール、各種たより等は、学校の活動や情報を知るのに役立っている」と回答する保護者の数値が昨年から上がり、グーグルクラスルームによる情報確認がさらに定着してきたと考えられます。来年度以降もグーグルクラスルームによる連絡や情報発信を活用していきます。一方で「保護者から学校へ困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある」と回答する保護者は8割程度でした。家庭で気付かれたお子様の変化等を早い段階で共有できるよう、今後も教員と保護者の関係を築いていけるよう努めます。

学校評価アンケートについての考察

附属中学校 教務部

「学校全般に関すること」について

○9割以上の生徒が学習規律を守り、学習内容を理解して意欲的に授業に参加できていると回答し、目標をもって学校生活を送っている生徒も8割を超えた。キャリア教育等を通して、将来につながる学びや経験をさせてきた成果は表れている。一方で、授業で自分の考えを述べたり、クラスで討議したりして、自分の考えを深めていると回答する生徒は8割に及ばない。授業を基盤として、より主体的な生徒を育成していくための手立てについて、生徒の姿を基にした授業研究等を継続して行っていく必要である。

- ・<全体集計>より、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は、質問5-1（学習規律）は91.0%、質問5-4（授業参加）は94.2%、質問5-6（目標をもった学校生活）は、83.7%、質問5-3（授業で考えを深める）は75.2%である。

「クロムブックの利用」について

○クロムブックをルールを守って利用しているかについては、良好であると答えた保護者が9割近くいることから家庭においても概ね正しく使用していると考えられる。家庭学習に役立っていると回答する生徒・保護者は7割を超え、教員の家庭学習への活用についての指導ができている割合も増加し、授業での指導と関連付けて、家庭学習にクロムブックを効果的に活用してきた成果が表れている。生徒がクロムブックを、学習ツールの一つとして活用していることがうかがえる。今後も、生徒や教員にとってクロムブックが学習ツールの選択肢の一つであることを意識して、その有効性を確かめながら活用していきたい。

- ・質問1-5（クロムブックのルール順守）について<全体集計>より、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は93.6%、保護者は87.1%であった。
- ・質問1-6（クロムブックの家庭学習利用）について<全体集計>より、「家庭学習に役立っている」に「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は78.8%、保護者は75.0%、「役立てるように指導している」と答えた教員は75.0%であった。

「情報発信」について

○「ホームページやお知らせメール等、学校の活動や情報を知るのに役立っている」と回答する保護者の数値が昨年と比較して上がっている。グーグルクラスルームによる情報確認が定着してきたと考えられる。一方で「保護者から学校へ困ったことがあった場合に相談できる雰囲気がある」と回答する保護者は8割程度である。三者懇談会に限らず、家庭で気付かれた生徒の変化等を早い段階で共通理解できるような関係を教員と保護者の間で築いていけるよう努めていきたい。

- ・質問3-3（学校からの情報伝達）について<全体集計>より、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた保護者は91.9%であった。質問3-1（相談できる雰囲気）について、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた保護者は82.8%であった。

「生徒の生活面に関すること」について

○交通ルールやマナーの遵守については教員と生徒・保護者の間に大きな捉えの違いがある。生徒自身が場面に合わせて適切な判断ができるような指導を継続的に行う必要がある。また、持ち物の管理については、否定的な回答をする教員・生徒・保護者が約2~3割であった。学年懇談会等を通して学校での実態を伝え、家庭とも連携しながら、指導方法を検討していきたい。

- ・質問5-8（交通ルールの順守）について、<全体集計>より、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は98.9%に対し、教員は70.0%であった。
- ・質問5-7（持ち物の管理）について、<全体集計>より、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」と答えた生徒は19.9%、教員は25.0%、保護者は32.2%であった。

「見通しをもった仕事と引継ぎの充実」について

○企画立案の際、ほとんどの教員が自分なりの工夫・改善を図っている。教員の異動の間隔が短くなったことで引き継ぎが難しくなってきた反面、それぞれの教員が自分たちでよりよい教育活動を目指して工夫する機会が増えている。今後は、これまで新型コロナウイルスの感染対策のために変更された事柄等について、特に生徒が関わるものは今一度活動内容を吟味して、生徒のためにより有効な企画となるよう立案していくようにしたい。

- ・質問4-3について<経年比較資料>より、95.0%の教員が「あてはまる」「だいたいあてはまる」と回答している。